

令和3年度  
全国学力・学習状況調査  
学校の調査結果



令和3年12月

海老名市立有馬小学校

令和3年度

# 全国学力・学習状況調査について

## 調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

## 調査内容

### (1)教科に関する調査(国語, 算数・数学)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

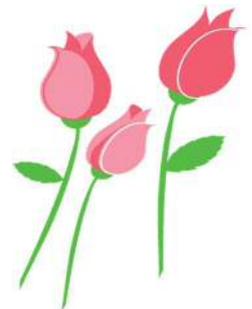
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

### (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査 (例)調査教科への興味・関心、読書時間、勉強時間の状況、ICT機器の使用状況、生活習慣 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

## 調査実施日

令和3年5月27日(木)



# 小学校 国語

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることができるかどうかをみる。
- ・資料を用いた目的を理解することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じ、資料を使って話すことができるかどうかをみる。
- ・文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することができるかどうかをみる。
- ・思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことができるかどうかをみる。
- ・目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。
- ・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができるかどうかをみる。
- ・自分の主張が伝わるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、理由を明確にししながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる。
- ・文の中における修飾と被修飾の関係を捉えることができるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 目的に応じて、話の内容が明確になるように文章の構成を考えることができている。
- スピーチの原稿を読み、資料を用いた目的を理解することができている。
- 資料を使い、目的や意図に応じた話し方を考えることができている。

### ◆課題のある点

- 文章を読んで内容を整理したり、目的や意図に応じて文章を書いたりすることに課題があります。
- 資料から適切な内容を取り上げて、関係付けて理解したり表現したりすることに課題があります。
- 記述式の問題で、自分の考えをまとめて書くことに課題があります。
- 画数が多い漢字や同音異義語などの漢字を正しく書くことに課題があります。
- 問題を最後までやり終えることに課題があります。（無解答も多く見られました。）

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 目的に応じた文章の内容構成は理解しているので、そのポイントを絞って整理し、目的や意図を明らかにできるように指導していきます。
- 自分の考えを文章にすることに苦手意識があるので、例文で何度も練習し、文章の型が理解できるよう指導していく。また、苦手でも途中であきらめず、最後まで取り組む姿勢が身につくよう、声掛けを続けます。
- 漢字の練習は短期記憶にとどまらないように、復習を重ねながら長期的に練習できるようにします。

# 小学校 算数

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・問題場面から、必要な数量を選択し、事柄や関係を数学的に表現・処理することができるかどうかをみる。
- ・伴って変わる二つの数量の関係について考察できるかどうかをみる。
- ・異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方や表し方について理解しているかどうかをみる。
- ・日常生活に必要な時刻を求めることができるかどうかをみる。
- ・基本図形の面積の求め方について理解しているかどうかをみる。
- ・量の基本的な性質について理解しているかどうかをみる。
- ・図形の計量について、図形を構成する要素などに着目して捉え、筋道を立てて記述できるかどうかをみる。
- ・棒グラフから、データの特徴や傾向を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・データを二つの観点から分類整理し、表に表したり読み取ったりすることができるかどうかをみる。
- ・帯グラフから、複数のデータについての項目の割合を比較し、データの特徴を捉え、表現することができるかどうかをみる。
- ・設定した問題に対して集めるべきデータを判断することができるかどうかをみる。
- ・除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができるかどうかをみる。
- ・除法の意味について理解しているかどうかをみる。
- ・小数を用いた倍の意味について、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して理解し、考え表現することができるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 棒グラフの読み取りの問題では、題意から何を読み取ればよいのかを判断し、それに応じた解答ができました。また、選択肢にある「倍」「差」などの言葉に着目して正しく選択しており、言葉の意味が理解できています。
- 時刻の問題では、時刻から何分後に到着するのか生活に根付いた問題の正答率が高かったです。
- 三角形の面積の求め方を公式に当てはめて計算し、2つの三角形を組み合わせて形を変えても、面積は等しいことなど性質を理解しています。

### ◆課題のある点

- いくつかあるデータを読み取り、二次元の表に分類整理することに課題があります。
- 単位量あたりの大きさを求める問題では、何を1と見るのが難しく立式できていないことが目立ちました。商が1より小さい数になると、「割り切れないのではないか」等と予想して立式を迷ったのではないかと考えます。
- 二等辺三角形を使って平行四辺形の面積の求め方を説明する問題では、公式を使って面積を求めることはできるが、なぜそうなるのかを既習内容を用いて論理的に説明することに課題がありません。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 基礎・基本の定着を目指し、公式に当てはめて解くだけでなく、既習事項を用いて課題解決していく力を育てていきます。
- ノートに自分の考えを書き出したり、友だちに自分の考えを説明したりすることで、論理的に説明する力を身につけられるよう指導していきます。

# 児童質問紙

## 学習について

### ◆本校のよかったところ

- ICT 機器を使用した学習において、特に調べ学習や友だちとの意見交換を積極的に行い、自らの学習に役立てようとしています。
- 課題解決に向けて、友だちの考えをよく聞き、受け止めながら、自分の考えを伝え合おうとしています。
- 外国語の学習に楽しみながら積極的に取り組んでいます。

### ◆本校の課題と思われるところ

- 基礎基本の定着に課題があります。
- 家庭学習を含め、計画的に学習を進めることに課題があります。
- 「平日、普段は全く読書をしない」と回答した児童が3割を超えています。

## 生活について

### ◆本校のよかったところ

- 将来の夢や目標を持っている児童が約8割います。
- 学校に行くことや、友だちと協力することが楽しいと感じています。
- いじめは絶対にいけないと思っています。

### ◆本校の課題と思われるところ

- 早寝・早起きなどの規則正しい生活を送ることに課題があります。
- 家庭でのゲーム(PC・携帯型・スマートフォン等)の時間が全国平均と比べて長いです。
- 失敗を恐れて挑戦することを避ける傾向がみられます。

## 今後の具体的な取組について

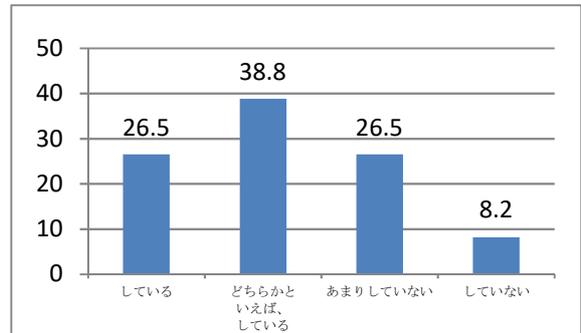
- 基礎的内容が理解・定着されるような指導方法の工夫・改善に取り組みます。
- 課題解決に向け「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくりを行います。また、授業づくりをするうえでICT機器を効果的に活用する研究を進めます。
- 道徳の授業を中心とし、その他の教科学習、学級会や行事等の特別活動を通じて、自己の生き方を考えるような指導に努めます。
- 家庭や地域との連携を強化し、子どもたちをともに育てていくという関係を大切にしていきます。

# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

## 1 早寝・早起き・朝ごはんを続けていきましょう。

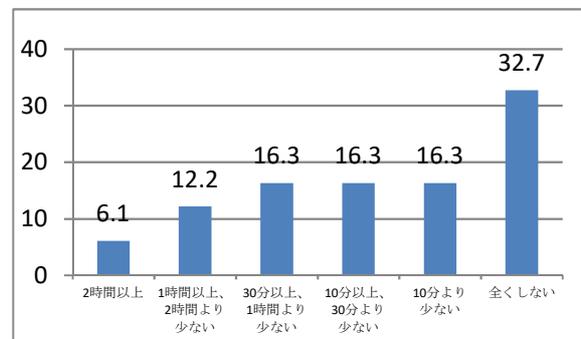
基本的な生活習慣を身につけることは、学習面に良い影響を与えます。寝る時刻が遅くならないようにして、生活リズムを整えましょう。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

## 2 本を読みましょう。

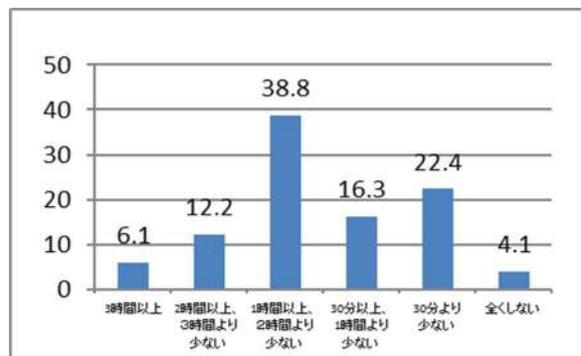
読書は、語彙を増やし、豊かな想像力・表現力を育みます。読書をする時間を増やしましょう。



学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

## 3 家庭学習に継続して取り組み、よりよい学習習慣を身につけましょう。

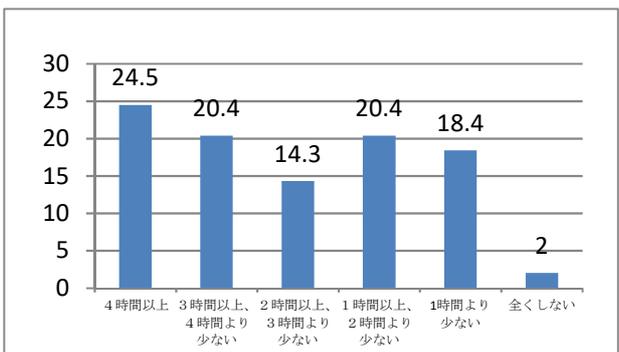
学習内容の定着を図るためには、家庭における学習も必要です。見守りや励ましを続けましょう。



学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

## 4 ゲームの時間を減らしましょう。

ゲームの時間が多いと、必然的に読書の時間や家庭での学習時間が減ってしまいます。また、寝る時間が遅くなる原因になる場合もあります。



普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。

## 資料 学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。  
(教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より)

### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

### 【主体的・対話的で深い学び】

- ・学習した内容を見直し、次の学習につなげている
- ・自分の考えが伝わるように工夫して発表している
- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる

### 【学級活動、道徳】

- ・学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決している
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、話し合ったりしている

### 【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日摂る
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る
- ・コンピュータやスマートフォン等でゲームをする時間が短い

### 【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で学習計画を立てて学習をする
- ・家に本が多くある

### 【自尊感情・規範意識】

- ・自分には、よいところがあると思う
- ・自分でやると決めたことはやり遂げる

## 結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係

